

教科（種目）	採択した発行者	採 択 理 由
国語	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各領域とも学習指導要領に示された言語活動例に基づき、それぞれの学年で繰り返して学習できるよう教材を配置している。</li> <li>・民話や昔話の読み聞かせ教材を全学年に配当し、3年以上は、短歌・俳句、古文・漢文の教材を示している。</li> <li>・「読むこと」「書くこと」の教材で、情報の活用を題材に取り上げている。</li> <li>・本や読書について考える単元「本は友達」を各学年に設けている。</li> </ul>
国語（書写）	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・字形や文字の組立て方理解を容易にするため、字形を点線で囲み、背景や偏旁、中心線を色分けしている。点画模型で、文字の部分の組立てを確かめられる。</li> <li>・穂先の通り道の理解を容易にするため、朱墨と薄墨の2色で点画を示している。</li> <li>・手紙、新聞、ことわざ、俳句、故事成語等を示している。 筆・墨・硯・紙の作り方、書写や伝統文化に対する関心や理解を深める資料がある。（4～6年）</li> </ul>
社会	日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが自分の予想や考えを出し合う場面や互いに意見を聞き合う場面を設定している。</li> <li>・「ふりかえってみよう」では、学んだことを活用して新聞等にまとめたり、話し合ったりする活動を例示している。</li> <li>・法隆寺や東大寺等の世界文化遺産のほか、能や祇園祭等を取り上げている。</li> <li>・よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を培うため、問題解決に向けて、これまで学んだことを活用しながら、自分の提案を説明するなどの学習場面を設定している。</li> </ul>
地図	帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色のある都道府県→日本周辺図→日本全図→日本地域図→世界全図→大陸別図の順で配置している。</li> <li>・「自然の統計」では、日本と世界の統計を掲載し、「日本のすがた」では、23項目の統計と帯グラフを掲載している。</li> </ul>
算数	新興出版社啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだことを実験によって確認し、実感を伴う理解ができるよう「算数実験室」を設けている。（3年以上）</li> <li>・見通しを持って学習が進められるように、学習の筋道を示す「教科書の使い方」「学習の進め方」を設けている。</li> <li>・「よみとる算数」を設定して、文章、図、グラフ等から必要な情報を選択して問題を解決できるようにしている。</li> </ul>
理科	新興出版社啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しを持って学習できるように「学習の進め方」で、問題解決学習の流れ全体を示している。</li> <li>・論理的に考える態度や能力を育てるために、実験や観察の結果と考察を区別して掲載している。</li> <li>・理科に興味をもち、理科の有用性を実感できるよう、単元末に「ひろげよう」を設定し、実社会と関連した内容を写真などを用いて掲載している。</li> </ul>

生活	新興出版社啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年間の季節の移り変わりをベースに、上巻は「学校と生活」、下巻は「地域と生活」をテーマにしている。</li> <li>・季節変化に気づかせる定点観測や、3年の理科で扱う風・ゴムのはたらきにつながる基礎体験を行えるよう、おもちゃ単元を設けている。</li> <li>・自分への気づきを深めるために、自分の役割を果たしたり、自分たちで話し合い、判断したり解決したりする活動例を掲載している。</li> </ul>
音楽	教育芸術社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項及び〔共通事項〕を踏まえ、段階的に学習が進められるように配列している。また、学びがつながり、深まっていくように、系統的に題材を設定している。</li> <li>・低学年で交互唱や輪唱、3年でオスティナート唱やパートナーソングを取り上げ、4年以降で二部合唱や三部合唱へと段階的に進む構成としている。</li> </ul>
図画工作	日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階に応じた活動内容、材料や用具などに配慮し、表現と鑑賞の題材を、系統的にバランスよく配列している。</li> <li>・各題材で、完成作品だけでなく、活動中の児童の姿を大きく掲載している。</li> <li>・「活動のめあて」等で、形や色とそのイメージを確かめながら活動するように示している。</li> </ul>
家庭	開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習のめあて」で始まり、「話し合おう」「考えよう」「やってみよう」「できたかな」「ふり返ろう・生かそう」などで、児童が主体的に学ぶことができるような活動を示している。</li> <li>・「ごはんのみそしるをつくろう」や地域の食材を生かした料理調べ、伝統的な保存食を取り上げている。</li> </ul>
体育（保健）	大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初に学習課題を示し「やってみよう」「話し合ってみよう」の後本文によるまとめを行い、課題解決に生かせるようにしている。</li> <li>・課題解決の方法として「話し合ってみよう」を設定し、話し合い活動を中心に学習が進むようにしている。</li> <li>・5・6年の「自然災害にそなえよう」「AED」「いろいろな病気と病原体」「大切な命」では、児童にとって身近で今日的な課題を取り上げている。</li> <li>・「病気の予防」では、参考になるHP等を紹介している。</li> </ul>